認定部門

長時間労働削減取組部門

取組による効果

- ・平成26年度の1人あたりの年間時間外労働は、平成22年度実績と比較して40時間 短縮しており、平均勤続年数が2年以上増加しています。
- ・フレックスタイム制度利用率が100%となり、全社員が制度を利用しています。

従業員の意見

- ・労働時間に対する意識が高くなり、効率よく業務を行おうとする雰囲気が高まりました。
- ・定時退社日のある水曜日、金曜日には早く帰宅が出来るため、家族との時間を増やすことが出来たり、仕事仲間と慰安の時間を設けることができるなど、余暇時間の充実が図れている。今まで漠然と作業を行っていたが、日々のスケジュールを考慮し、効率的な業務を行うことが出来るようになってきています。
- ・以前の手書き勤怠簿だと総労働時間の把握が自分でも難しく、どの程度働いているのかがわからなかったが、労働時間に対する意識が生まれてきました。







働き方を見直すいきいき職場を応援!

※このリーフレットは東京ワークライフバランス認定企業 の取組紹介のために東京都が発行したものです。 働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2016

🤎 Work Life Balance Festa Tokyo 2016



住友重機械エンバイロメント株式会社

会社概要

会 社 名

住友重機械エンバイロメント株式会社

代表 者名 代表取締役社長 真鍋 教市

創立 (創業) 2007年

所 在 地

東京都品川区西五反田7-25-9 西五反田ESビル

TEL / FAX 03-6737-2728 / 03-6866-5260

従業員数

232名(うち正社員数151名)

U R L http://www.shiev.shi.co.jp/index.html



事業内容

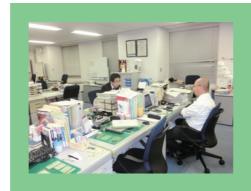
- プラントエンジニアリング事業
- 水処理等の環境設備製造事業

目的·理念

「ワークライフバランスの推進による残業の削減と業務の効率化」

・従業員の仕事と日々の生活のバランスをとり、健康で快活な生活を送れることを 目的として取組を推進しています。

また、労働時間に対する意識を高めることで、業務の効率化を図り、生産性の 向上を目指しています。





長時間労働削減取組部門

取組内容

週二回定時退社の実施

・毎週水曜日と金曜日を定時退社日とし、定時以降の残業を原則禁止として います。

勤怠管理システムによる労働時間管理

・WEBシステムを利用し、労働時間の管理を行うことで、毎日の労働時間を正確に 管理出来ると共に、日毎に残業時間の集計が出来るため、担当者自身はもちろん、 上司・人事担当も労働時間を日々把握できるため、従業員に過重な作業負担が かかっていないか確認ができます。

会議の効率化による時間短縮

- ・会議時間の短縮を目的とし、会議議事内容を開催日前日までにメールで事前配布 することとしています。
- ・各営業所間でテレビ会議システムを導入し、各営業所から出張で本社に来社する だけの無駄な移動時間をなくすようにしています。

フレックスタイム制度

- ・全社員を対象にフレックスタイム制度を導入しています。
- ・05:00~22:00までの時間内で社員の裁量に任せ、出勤時間を任意で調整可能と しています。





